

## 山行報告書

山行管理部

### 例会 伏見稲荷から清水山 3月22日(日)

L 石野(明)・松本(正)・目加田・田中 62名(内一般5名)

京阪伏見稲荷駅 9:40→伏見稲荷大社 10:15→四ツ辻 10:45→泉涌寺 11:20→  
12:40 清水山(昼食) 13:20→13:40 東山山頂公園(クラブ紹介等) 14:30→  
知恩院 14:50→円山公園(解散) 15:00

朝から晴天。一挙に春日となり62名の参加で3班に分かれて入念に点呼。  
稲荷大社では観光客も大勢いてハグレないかと不安だったが、泉涌寺まで来て  
一安心。清水山で遅めの昼食をとり、広い東山山頂で恒例のクラブ紹介、ワンポイ  
ントレッスンを行ないゆっくりできました。一般参加5名のうち2名の新入会があ  
りました。(石野明 記)

### 自然保護 熊野古道中辺路大雲取超え他 3月28日～29日

L 阪上・石野(明) 23名

3月28日 森ノ宮 7:00 バス⇒那智道の駅 12:00-40 昼食→浜の宮王子神社

13:00→補陀落山寺 13:50→大門坂 16:10→那智大滝 16:40 ⇒  
バス宿舎 17:00

3月29日 宿舎 7:30 バス⇒青岸渡寺.那智大社 8:00-40→那智高原 9:15→登立茶  
屋跡 10:00→舟見峠 11:10→地藏茶屋跡 12:45-13:05→石倉峠 13:  
30→越前峠 14:15→胴切阪 14:50→円座石 16:15→小口 16:45-17:  
15 バス⇒森ノ宮 22:00

自然保護部の春のメイン山行熊野古道。キャンセル待ちが多くありバス定員の23  
名で行ってきました。(行けなかった人ごめんなさい) 28日は晴天で  
日本一の那智大滝に感動。29日は朝から雨、苔むす石畳 石仏 石段  
の緑が一層美しい。険しい大雲取超えも名語り部ガイドで随所にある石  
碑の歌を読んだり、歴史を聞いて歩いた。1000年のロマンあふれる神  
秘の参詣道を歩きとおせた充実感でいっぱいの日間でした。

(石野(明) 記)

有志山行 雲取山・赤城山（黒檜山） 3月15日～18日 L井 4名

3月15日 大阪発(8:30)自家用車→奥多摩温泉郷泊

3月16日 村営小袖駐車場(7:35)晴→堂所→七つ石山→ブナ坂→小雲取山→雲取山→雲取山荘泊(14:55)、歩行時間7時間20分(休憩時間含む)、歩行速度：遅足

3月17日 雲取山荘(5:55)晴→雲取山→小雲取山→ブナ坂→堂所→村営小袖駐車場(11:05)歩行時間5時間10分(休憩時間含む)、歩行速度：中程度→群馬県渋川市・北橋温泉泊

3月18日 黒檜山登山口駐車場(8:50)曇→黒檜山→駒ヶ岳→駒が岳登山口→黒檜山登山口駐車場(12:25)、歩行時間3時間35分(休憩時間含む)、歩行速度：中程度→帰阪22時過

雲取山は、登山口の丹波山村営小袖駐車場への林道が崖崩れで、少し西側からのアクセスとなり、道探しに少し手間取った。雪のあった七つ石小屋からアイゼンを装着。それまでの緩い登りから、ここよりは、所々で少し斜度のある登りとなった。

「体力勝負の山」の言葉通り、フーフーと息を切り、山頂到着(同行者3人はさほどバテてなさそう)。雲取山頂は3.6℃と気温は高め。雲取山荘までの北斜面下りの氷結を心配したが、気温が高いためか、柔らかめのトレースで難なく小屋着となった。標高差約1,300m、片道約13キロ。山荘周辺の積雪50cm程度。雲取山荘泊。

前晩に雨が降ったが、朝は快晴。雲取山頂上より、奥秩父山塊、南アルプス、富士山がクッキリと望めた。ゆったりした雪の稜線を右側に富士山を眺めての下りは、極上でした。赤城山は、黒檜山登山口よりアイゼン装着し、急登を黒檜山まで一気に登頂。頂上で積雪は60cm程度。当初は黒檜山登山口へのピストン予定だったが、湿雪の急斜で登りに手間取った箇所が結構あった為、緩い下りの縦走路へ変更し下山。標高差約470m。

両山6本爪アイゼン、ストックで危険を感じず歩行可能でした。昼食は行動食(パン)対応。天候都合で、日程上2山は困難の事も有とっていましたが、良き天候を得、首都圏からは雪山入門の山ですが、ゆったりと2,000m前後の雪山2山を楽しめました。

(井 記)

**サロン 京都御所と東山の花見散策 4月6日 L宇野 9名**

京阪京橋8・17分乗車、三条で下車花散る鴨川の水鳥などを見ながら丸太町から京都御所、天気予報が雨の為か見学者が少ない、軽い手荷物検査を受け入場、玉砂利を踏みながら、ぶらり、ぶらりと広い庭園を歩く、歴史を物語る松に心奪われ圧倒される。夏のお住まいになる、見事なる庭園、ふすま絵を鑑賞。御苑の北側の枝垂れ桜を觀賞。鴨川の河川でお昼をする。平安神宮から勸業会館で休憩、円山公園の散りゆく桜の美しさを觀賞。垂水さんの参加で桜の事や庭園の事等、色々教わる事が出来、御所の雅に堪能した一日でした。 (記 宇野)

**ウィークデー 水無瀬から若山・太閤道 4月9日 L馬場・五十嵐 15名**

阪急水無瀬駅10:00ー若山神社10:45ー四つ辻11:45ー見晴台12:15 (昼食) 12:50ー金竜寺跡13:25ー磐手橋14:05ー安満宮古墳14:30ー京大農場15:30 (解散)ー高槻市駅15:50

雨のつづいていた天気がこの日は中休みか、時折薄日もさして山行には快適な一日となりました。桜もまだ楽しめ、新緑の中に映えるミツバツツジを見ながら歩きました。安満宮古墳では、ここに眠る王が邪馬台国の卑弥呼から鏡を授かったということから、邪馬台国はどこにあるかという話などしばし古代に思いをはせました。大がかりな高速道路の工事のあいだを歩き京大農場で解散。阪急の高槻まで事故もなく帰ってくることができました。 (五十嵐 記)

**自然保護 明智越え 4月12日 L山田(仁)・石野(博) 29名**

JR 亀岡 10:58→登山口 11:30→峯の堂 12:20 着(昼食) 12:50 発→14:05 水尾口取付→JR 保津峡 14:40 解散

3月下旬からの曇天・雨続きの中でまずまずの天候の中で、実施できました。大勢の参加者があり CL がうまく務まるか心配でしたが、2列目に定井様ご夫妻についてもらい周囲全体への目配りをして頂きました。目的のミツバツツジが7分咲きで見ごろには少し早目でしたが、天気にあじてご容赦いただくとして、30分早めの保津峡到着でした。ご参加の皆様、有難うございました。 (山田仁 記)

## 土曜山行 丹波 向山 4月18日

L 堺・猪瀬 24名

JR 丹波快速福知山行き 7:23 大阪駅発＝石生 9:05 着（説明・体操）－観音堂登山口 9:55 着－一二の山－三の山－四の山－向山 11:25 着（昼食） 12:00 発－五の山－蛙子峰－清水山－イルカ石－博打石－亀石－石生駅 2:10 着（解散）

ヒカゲツツジを見たい、ということで去年の情報をもとに土曜山行を第三週目にしましたが、よかったのか悪かったのか。ヒカゲツツジとしてはもう1週間早かったほうがよかったかもしれません。でも、ヒカゲツツジの白とミツバツツジのピンクの競演を見ることができましたし、なによりすばらしい天気でした。登りはじめと下りはかなり急でしたが、予定通りの時間に全員無事下山することができました。青空の下、花や景色を見ながら皆さんと山歩きできたことはとても楽しかったです。皆さん、ありがとうございました。（堺 記）

## タ～ブル 摩耶山 4月19日

L 宮田・元 10名

8:00 阪急梅田集合→ 9:25am JR 新神戸駅付近の公園(?)で軽く体操し、歩き始める→ 布引の滝から上流に向かって溪谷沿いに進む→ 10:15 市ヶ原でトイレ→ 黒岩尾根を登る→ 12:00 昼食→ 13:15 摩耶山上(掬星台)→ 青谷道を下る→ 14:55 登山口にて解散→ 15:20 王子公園駅

曇り時々雨の天気予報であったが、当日朝、場所によってはかなり降ったらしく、参加申し込み者のうち7名が不参加。しかし、雨は歩き始めの小雨のみだった。爽やかな風も吹き、新緑の中を快適に楽しく歩くことができた。溪谷沿いの道から黒岩尾根コースに入ると他のグループはいない。コースは変化に富み、上部には“みつばつつじ”が登山道の両側に咲き乱れていた。ほかにも、緑の中に点在する桜、満開の楓(地味な花)、野いちごの白い花、可憐なひめおどりこ草、すみれなどが目を楽しませてくれた。反省点としては、「雨天決行」としてあっても、当日の不参加の連絡先電話番号を記載しておいた方が良かったと思われる。(連絡方法が分からないために、不参加にもかかわらず集合場所まで来られた方があった。)

(元 記)